

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公)

公表：令和 5年 5月 1日

事業所名 放課後等デイサービス 翔 はばたき 保護者等数(児童数) 21 回収数 12 割合 57 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	52%			5%		重度の児童や医ケア児の活動スペースの確保に努めます
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	33%	10%		14%		男性や専門資格を持つ職員の確保に努めます
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	48%			9%		エレベーターに代わるものの設置に努めます
適切な支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	52%	5%				子ども、保護者のニーズや課題それぞれの特性と発達段階をより理解する様努めます
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	43%		5%	9%		療育内容を工夫する様努めます
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	19%		9%	29%		行動やイベント等で交流する機会を増やす様努める
保護者への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	52%		4%			加算等の負担費やおやつ代等、送迎費等特に請求していない
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	52%	5%				子どもの様子で心配な事があれば即対応できる様にしていると伝える
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	38%	5%	9%	5%		個別で電話対応か送迎時にお話しをうかがえるように努めます
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	28%	5%	19%	5%		父母の会は現在存在していないが、今後視野に入れて支援する様努める
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	38%	5%		14%		苦情処理担当者を定めて対応している
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	52%	5%				保護者に送迎時、直接お会いした時やイベント、行事などに参加して頂いた時に伝えている
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	52%		5%			行事等はホームページ等で発信しているがそれと共に自己評価への結果を発信する様に努めます
14 個人情報に十分注意しているか	57%					定期的に法人の規約や条例を再確認する様努めている	
非常時等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	43%			14%		見て解りやすいマニュアルを作成し直し周知徹底に努めます
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	33%			24%		定期的に避難訓練を行いより細かく伝えていく
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	57%					イベントや楽しい活動も取り入れている
	18 事業所の支援に満足しているか	52%	5%				

\*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。